

『ありがとうの神様』

(小林 正観、ダイヤモンド社、2015.2.)

帯に「神様が味方する71の習慣」とあったので、買ってみました。読んでみると、子育てのヒントとなりそうな文章がたくさん出てきましたので、紹介させていただきます。

◆自分の子どもを「天才」に育てる方法がある

- ・子育ての本質は、子どもをしつけることではなく、「子どもの芽を摘まないこと」
- ・母親から「いつも肯定されている子ども」は、自分の関心事を否定されないで、自分の才能をスムーズに開花させることができる
- ・母親が「あなたは、そのままいいのよ」と受け入れていくと、子どもは個性的に、のびのび育つ
- ・天才を育てた母親は、「子どものことを、丸ごと全部受け入れ、肯定していた」のです。
- ・「この子は、こういう子だ」と認め、守り育ててきた子どもが天才になります。子どもが夢中になっているときに、「すごいね」と言って丸ごと受け入れ、ニコっと笑顔で接してあげればいいのです。

◆自分の感情をコントロールできない大人を、子どもは「大人とは認めない」

- ・母親が自分の感情をコントロールできずに、ヒステリックに怒っているのを見ると、子どもは「お母さんも、僕たち子どもと変わらないじゃないか」と残念に思い、親の言うことを聞かなくなる

◆自分の子どもと他人の子どもを比べることに意味はない